



令和3年6月16日

市道中村楠部 17-1 号線の開通について

内宮周辺の渋滞緩和を図るため、市と三重県がバイパス機能を持った一連の道路計画を立て、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催時期を目標に、道路整備を行ってきました。市では、国道 23 号と県道館町通線^{たちまちとおりせん}を結ぶ市道中村楠部 17-1 号線を整備し、三重県では県道館町通線^{たちまちとおりせん}の道路整備及び御側橋^{おそばはし}の架け替えを進めてきました。

この度、市と三重県の道路整備が完了し、7月14日（水）に、バイパス機能を持つ道路が開通することになりました。このことにより、「三重交通Gスポーツの杜伊勢^{もり}」や五十鈴川河川敷の市営駐車場などへのアクセスの向上を図ることができるとともに、地元の皆様や、伊勢市にお見えになる観光客の皆様にとっての利便性も高まり、この地域の渋滞緩和に寄与できると期待しております。

1 事業の概要

【伊勢市】

- ・市道中村楠部 17-1 号線
 - 延長：170m
 - 幅員：10.75m（車道 3.0m × 2 車線、歩道 2.5m）
 - 総事業費：約 1 億 9,700 万円（工事費、設計費、用地費、補償費）
 - 工事期間：平成 30 年度～令和 3 年度

【三重県】

- ・県道館町通線^{たちまちとおりせん}および御側橋^{おそばはし}架け替え（市道中村楠部 17-1 号線から県営陸上競技場前）
 - 延長：1,100m（うち、橋梁 95.6m）
 - 幅員：10.75m（車道 3.0m × 2 車線、歩道 3.0m）
 - 総事業費：約 14 億 2,000 万円（うち、橋梁 7 億 5,000 万円）
 - 工事期間：平成 28 年度～令和 5 年度（予定）
（残りの期間で旧橋の撤去を行います）

位置図

